

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 2 月 26 日 (2015.2.26)

【公開番号】特開 2014-183517 (P2014-183517A)

【公開日】平成 26 年 9 月 29 日 (2014.9.29)

【年通号数】公開・登録公報 2014-053

【出願番号】特願 2013-57820 (P2013-57820)

【国際特許分類】

H 0 4 B 7/08 (2006.01)

H 0 4 N 21/426 (2011.01)

H 0 4 B 1/16 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/08 B

H 0 4 N 21/426

H 0 4 B 7/08 D

H 0 4 B 1/16 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 1 月 13 日 (2015.1.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のアンテナ入力と、  
複数の前記アンテナ入力の一つを選択する選択部と、  
選択された前記アンテナ入力からの信号を処理する処理部と、  
前記選択部を制御するコントロール信号を生成するコントロール信号生成部と  
を有するテレビジョン受信装置。

【請求項 2】

前記複数のアンテナ入力には、伝送帯域の全帯域をカバーする有線のアンテナ入力が含まれる請求項 1 に記載のテレビジョン受信装置。

【請求項 3】

前記全帯域をカバーする有線のアンテナ入力は、前記選択部を通過して前記処理部に供給される請求項 2 に記載のテレビジョン受信装置。

【請求項 4】

前記コントロール信号生成部は、前記アンテナ入力からの信号のそれぞれの信号強度を求め、求められた信号強度が大きく、且つエラーの少ない前記アンテナ入力を選択する請求項 1 乃至 3 の何れかに記載のテレビジョン受信装置。

【請求項 5】

前記コントロール信号生成部は、前記複数のアンテナ入力に関して予め信号強度を求め、前記信号強度の大きいものから順番にアンテナ入力を選択する請求項 4 に記載のテレビジョン受信装置。

【請求項 6】

前記コントロール信号生成部は、前記複数のアンテナ入力の有無を予め求め、前記アンテナ入力の無いものについての処理を省略する請求項 4 に記載のテレビジョン受信装置。

【請求項 7】

前記アンテナ入力の一つを選択するロック状態において、エラーが発生する場合にインターラプト状態に移行し、前記インターラプト状態において、エラーが再度起きないか、またはエラーが少ないことを確認すると、前記ロック状態に戻る請求項 4 に記載のテレビジョン受信装置。

【請求項 8】

前記コントロール信号生成部は、複数の前記アンテナ入力を組合せて合成後の信号強度を求め、求められた合成後の信号強度が大きい前記アンテナ入力を設定する請求項 1 乃至 4 の何れかに記載のテレビジョン受信装置。

【請求項 9】

複数のアンテナ入力の一つを選択部によって選択し、  
選択された前記アンテナ入力からの信号を処理部によって処理し、  
前記選択部を制御するコントロール信号をコントロール信号生成部によって生成する  
テレビジョン受信方法。

【請求項 10】

複数のアンテナ入力と、  
複数の前記アンテナ入力の一つを選択する選択部と、  
選択された前記アンテナ入力からの信号を処理する処理部と、  
前記選択部を制御するコントロール信号を生成するコントロール信号生成部と  
を有し、

前記複数のアンテナ入力には、伝送帯域の全帯域をカバーする有線のアンテナ入力が含まれる携帯端末。

【請求項 11】

前記全帯域には、地上デジタル放送の信号と、携帯端末向けマルチメディア放送の信号とが含まれる請求項 10 に記載の携帯端末。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

切替スイッチ S W 2 は、受信する周波数に応じて入力を二つの出力に分けてモジュール 3 に供給する。モジュール 3 は、I C 化されたチューナおよびデコーダ部 4 が含まれている。チューナおよびデコーダ部 4 は、U H F 入力ポート 4 a、V H F - H 入力ポート 4 b および C A T V 用入力ポート 4 c を有する。切替スイッチ S W 2 の一方の出力が弾性表面波フィルタ 5 に供給され、その他方の出力がチューナおよびデコーダ部 4 の C A T V 用入力ポート 4 c に供給される。この例では、C A T V 用入力ポート 4 c が U H F まで対応していない。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

弾性表面波フィルタ 5 の出力信号がハイパスフィルタ 7 およびローパスフィルタ 8 に供給される。ハイパスフィルタ 7 によって U H F の信号が選択され、選択された U H F の信号がチューナおよびデコーダ部 4 の U H F 入力ポート 4 a に供給される。ローパスフィルタ 8 によって V H F - H ( I S D B - T m m の帯域 ) の信号が選択される。選択された V H F - H の信号がチューナおよびデコーダ部 4 の V H F - H の入力ポートに供給される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 3 8 】

ステップ S 1 6 : アンテナ端子 A N T 4 に対するアンテナの有無 ( Y / N ) が判定される。判定結果は、保存される。

ステップ S 1 7 : アンテナ端子 A N T 4 にアンテナが接続されていると判定されると、アンテナ端子 A N T 4 を選択するようにアンテナ切替スイッチ S W 1 が設定される。待機時間 T 4 が設定される。

ステップ S 1 8 :  $D = \text{RSSI} - \text{DefRSSI4}$  が計算される。DefRSS4は、アンテナ端子 A N T 4 に対応するアンテナが接続された時のレベルを示し、保存されている。ステップ S 1 7 の演算によって、単純な信号強度ではなく、信号純度を算出することができる。

ステップ S 1 9 : ステップ S 1 6 において、アンテナ端子 A N T 4 にアンテナが無いと判定される場合には、 $D = 0$  とされる。